

## 防災訓練の結果の概要（要素訓練）

### 1. 訓練の目的

本訓練は、「東通原子力発電所 原子力事業者防災業務計画 第2章 第8節」に基づき実施するものであり、あらかじめ定められた原子力災害時における応急対策または復旧対策等に関する手順の検証、習熟を行うとともに、体制、資機材の取扱いに係る実効性について検証し、改善を図ることを目的に実施したものである。

### 2. 実施日および対象施設

#### (1) 実施日

2022年12月1日～2023年9月30日（各訓練の実施日は、添付資料のとおり）

【発電所】原子力災害医療訓練、その他必要と認められる訓練

【本店】災害対策支援拠点对応訓練

#### (2) 対象施設

東通原子力発電所 1号機

### 3. 実施体制および参加人数

#### (1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者および評価者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は、添付資料のとおり。

#### (2) 参加人数

添付資料のとおり。

### 4. 防災訓練の内容および防災訓練のために想定した原子力災害の概要

#### 【発電所】

#### (1) 原子力災害医療訓練

発電所管理区域内において放射性物質による汚染を伴う傷病者が発生した想定のもと、汚染測定、除染および応急処置を実施する。

#### (2) その他必要と認められる訓練

##### a. 電源機能等喪失時対応訓練

全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失等を想定し、個別の緊急時対応を実施する。

##### b. 緊急事態支援組織対応訓練

高放射線量下において、現場偵察ロボットによる現場調査を想定し、現場偵察ロボットの障害物回避操作、掴み取り操作等を実施する。

#### 【本店】

(1) 災害対策支援拠点对応訓練

原子力災害が発生し、電源や注水等の各種設備は復旧したが、除熱機能が復旧できず、ベントを実施。周辺地域に放射性物質が放出され、放射性プルーム通過後の状況を想定し、災害対策支援拠点においてスクリーニング、除染活動を実施する。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の結果の概要（添付資料参照）

【発電所】

(1) 原子力災害医療訓練

発電所管理区域内において放射性物質による汚染を伴う傷病者が発生した想定のもと、汚染測定、除染および応急処置が実施できることを確認した。

(2) その他必要と認められる訓練

a. 電源機能等喪失時対応訓練

(a) 全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失等を想定した個別の緊急時対応について、定められた手順に従い、実施できることを確認した。

(b) 訓練により発電所の機器へ直接影響が生じるものは模擬とし、現場での動作確認が実施できることを確認した。

b. 緊急事態支援組織対応訓練

現場偵察ロボットの障害物回避操作、掴み取り操作等が確実に実施できる習熟度であることを確認した。

【本店】

(1) 災害対策支援拠点对応訓練

災害対策支援拠点（上北変電所）でのスクリーニングエリアの設定および防護服を着用した状態でスクリーニング、除染活動が実施できることを確認した。

また、原子力事業者間協力協定に基づき、他事業者からの要員派遣を受け、スクリーニング活動が実施できることを確認した。

## 7. 訓練の評価

各要素訓練について、定められた手順に従い実施し、手順の有効性と対応要員の習熟を確認したこと、体制の実効性を確認したこと、資機材の取扱いについて改善を図るとともに、その実効性を確認したことから、訓練目標を達成したものと評価した。

## 8. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

当該期間中の各要素訓練における改善点および今後に向けた改善点は、添付資料のとおり。

以 上

〈添付資料〉 要素訓練の概要

【発電所】

1. 原子力災害医療訓練（訓練実施日：2022年12月14日、参加人数：11名）

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
汚染傷病者に対する初期対応訓練を実施	① 総務課長 ② 総務課員、放射線管理課員、特別管理職および構内協力企業社員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

2. その他必要と認められる訓練

(1) 電源機能等喪失時対応訓練

a. 緊急時の電源確保に係る訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で35回実施、参加人数：延べ206名））

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
電源車および大容量電源装置による電源確保訓練を実施	① 電気保修課長および発電管理課長 ② 電気保修課員、発電管理課員、技術課員、防災課員、放射線管理課員および構内協力企業社員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

b. 緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で27回実施、参加人数：延べ233名））

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
ポンプ車による原子炉および使用済燃料プールへの注水のためのホース接続、注水ライン構成訓練を実施 燃料補給車による、消防車、電源車および大容量電源装置への燃料補給訓練を実施 緊急時直流電源設備の接続および電源供給訓練を実施	① 機械保修課長および発電管理課長 ② 機械保修課員、発電管理課員および構内協力企業社員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

c. その他緊急時対応として行う訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で25回実施、参加人数：延べ129名））

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
シミュレータによる緊急時対応訓練を実施 ----- アクセスルート確保のため、ホイールローダによる模擬瓦礫等撤去訓練を実施 ----- 原子炉建屋水素ベント開放訓練を実施 ----- 高放射線下における作業を想定した訓練を実施	① 土木建築課長、発電管理課長および放射線管理課長 ② 土木建築課員、発電管理課員、放射線管理課員および構内協力企業社員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

(2) 緊急事態支援組織対応訓練（訓練実施日：2023年9月27日～28日、参加人数：4名）

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
美浜原子力緊急事態支援センターより派遣された講師から指導を受け、現場偵察ロボットの障害物回避操作、掴み取り操作等を実施	① 防災課長 ② 電気保守課員、放射線管理課員および防災課員	良	特になし。	来年度も訓練を継続し、習熟を図る。

【本店】

1. 災害対策支援拠点对応訓練（訓練実施日：2023年7月28日 参加人数：34名（他社7名含む））

概要	実施体制 (①実施責任者、②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
<p>災害対策支援拠点对応訓練</p> <hr/> <p>放射性物質の放出後を想定し、本店から上北変電所へ移動し、スクリーニング活動、除染活動について、防護服を着用した状態での訓練を実施</p>	<p>① 原子力品質保証室 副室長</p> <p>② (本店)            原子力品質保証室員、            放射線管理課長、            放射線管理グループ員、            原子力運営グループ員、            原子力技術グループ員、            原子力設備グループ員、            原子力人財育成グループ員および            原子力防災・防護グループ員            (女川原子力発電所)            放射線管理グループ員および防災グループ員</p>	<p>良</p>	<p>特になし。</p>	<p>気象を考慮した作業環境の整備が必要である。</p>
<p>事業者間協力協対対応訓練</p> <hr/> <p>事業者間協力協定に基づき、他事業者と当社本店間で、初動対応および支援要請等の内容の確認を実施            要員の派遣を受け、上北変電所にてスクリーニング活動を実施</p>				